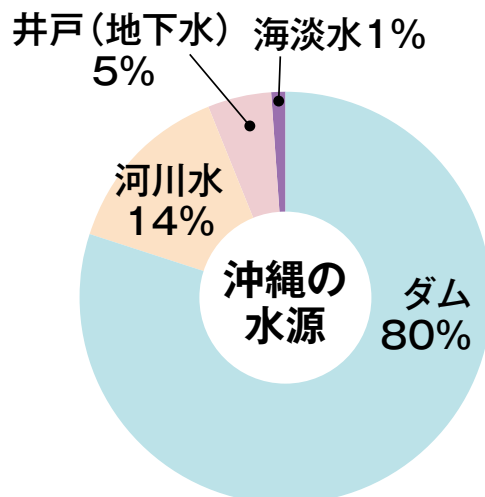
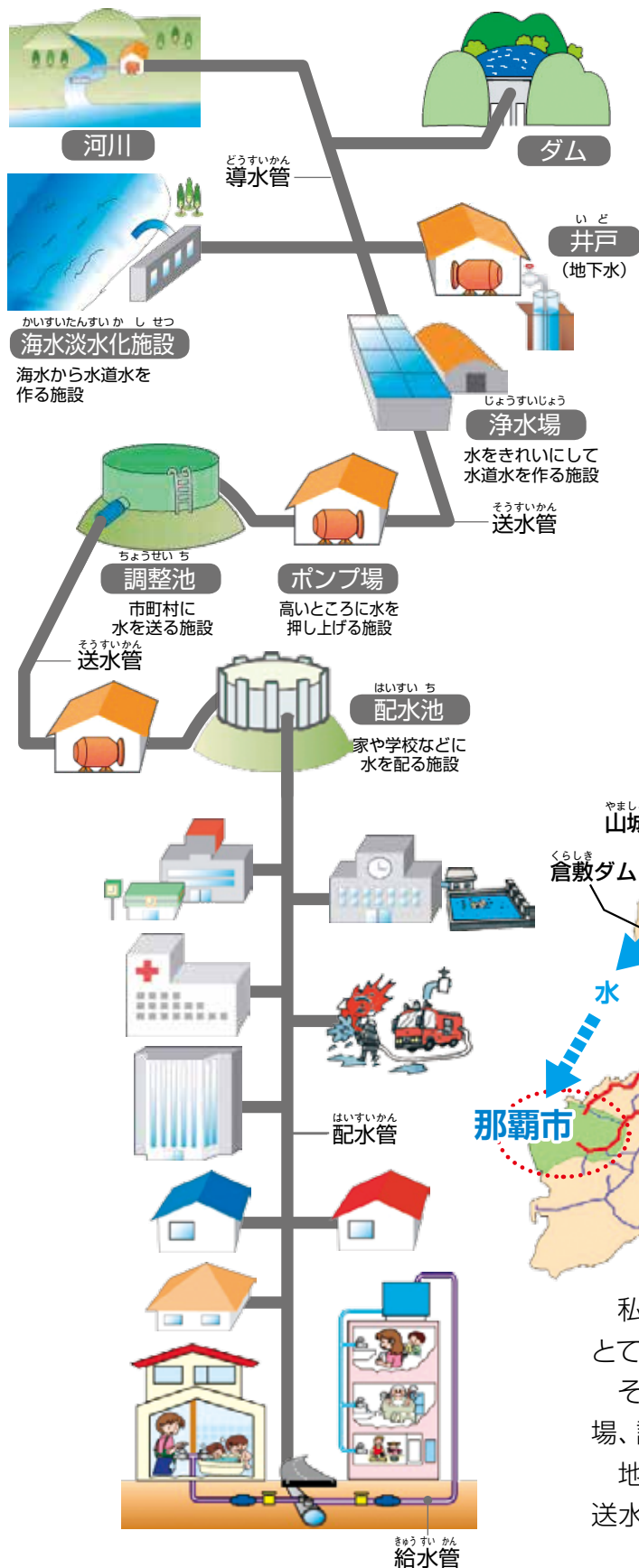


③ 水の旅（ダムから家庭まで）

水は北部(やんばる)のダムや河川からとても長い旅をして那覇市までやってくる！



平成27年度の水源地別日平均取水量
(沖縄県企業局ホームページより)



私たちが使っている水は、主に北部のダムや河川から、とても長い旅をして私たちの那覇市へときます。

その間には水を送るトンネルや太い管、浄水場やポンプ場、調整池、配水池などたくさんの施設があります。

地下に埋まって見えないけれど、水道水を運ぶ導水管、送水管、配水管や給水管もとても大切な施設です。

那覇市の主な水道施設

那覇市には7か所の配水池と3か所のポンプ場があります。

また、おもろまちにある那覇市上下水道局の庁舎内には、これらの施設を管理する「上水道監視室」や水質検査を行う「水質試験室」があります。

下の図は那覇市の水道施設の配置図です。また地図の中に見える青い線は、配水池や調整池から水が流れていく方向を示したものです。

水道管は、道路の地下などに埋められ市内を網の目のように張り巡らされて、その長さを合計すると約827キロメートルにもなります。(2016年度(平成27年度)末現在)

図の中の大名調整池、前田第二調整池、上間調整池は沖縄県企業局の施設です。



前田第二調整池	安里配水池
新川配水池	泊配水池
真地配水池	赤嶺配水池
上間調整池	豊見城配水池
大名調整池	上識名配水池

那覇市では上の図の施設をとって皆さんの家や学校などへ水道水が送られます。地図の色分けは配水池(調整池)ごとに送水される地域を表しています。皆さんのところへはどの配水池(調整池)からの水が届いているのかな?